

カメラ探訪

ふるさとの心

熊本バンド

(熊本市花岡山)



花岡山は市内を見晴す絶佳の地で、春は桜、秋は紅葉客で賑わう。仏舍利塔や熊本バンド血盟の地として知られるほか、神風連の変で倒れた鎮台司令・種田少将をまつる官軍墓地、キリシタン殉教の加賀山マリアの墓など数々の史蹟がある。熊本駅より徒歩二十分。



ふるさとの通信

望郷

中村達也

大阪生活もやがて十年となる。都会生活で感じていることは「いつ春になったのやら、夏になったのやら、今ごろはどんな行事があるのやら……」そういう季節の移り変わりがぴんときない時がよくある。コンクリート生活の中からはむなしくさえ思われる。私達の祖先が長い間かかってあみ出した素朴で豊かな文化を喪失しつつあり、ただ黙々と働いて毎日同じことをくりかえし、倦怠し感動することもない。その点、わが故郷は大きく違う。私は豊かで美しい自然にふれるため、毎年一回は必ず熊本へ帰ることにしている。そこには小学生の頃とまったく変わらぬものがあるからだ。それぞれの生活に一つのフシがある。祭りなどがそうである。青く澄みきった大空、大小それぞれの島山、変化する海のひろがり、四季の折りなす草花、小鳥の鳴き声、木々の深々と香り漂う天然の庭もある。それらは一つもあきることがない。

一定の期間が来ると、故郷の自然を満喫して大阪へ舞いもどる。「よし、やるぞ」といった明日からの新たな闘志が湧いてくる。そういう力が故郷にはあるようだ。いい故郷をもって私は幸せでいっぱいである。

八尾市高砂町府三の一一〇号
大阪高校勤務
昭和三十五年 鎮西高校卒